

特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

「日の丸・君が代」強制問題で、文科省の担当者(後方)に質問する参加者(手前) =21日、東京・永田町の参院議員会館で



【L.O.ユネスコ】「日の丸・君が代」勧告実施 7.21文部科学省交渉記者会見

「国家敬え」という強制だ

「日の丸・君が代」の教員への強制は不当だとして、国際労働機関(ILO)などが日本政府に是正勧告を出してから一年以上がたつが、政府は勧告を無視し続けている。「日の丸・君が代」訴訟を闘った教職員らでつくる市民団体は二十一日、勧告に従うよう文部科学省との交渉を行ったが、ほぼゼロ回答。折しも東京都内でコロナ禍でも卒業式に君が代斉唱を完全実施させたことが発覚したばかり。なぜこつも硬直的な強制が続くのか。(佐藤直子)

「日の丸・君が代」問題 教職員ら政府交渉

「日本政府は教員の地位などに関する勧告を日本語に訳し、全国の自治体などに情報提供すべきだと考えるが、実施したのか」。二十一日、東京・永田町の参院議員会館で行われた文部科学省の担当者との交渉で、市民団体「日の丸・君が代」ILO/ユネスコ勧告実施市民会議「側はこうただした。だが、同省側は「和訳の予定はない」と即答。「報告書はわが国の実情や法制を十分斟酌しないままに記述しているところがあるためだ」とした。文科省によれば、一九九九年度(二〇一八年度の二十年間)に、二十の都道府県と市で千四百十人が「日の丸・君が代」を巡り懲戒処分や訓告を受けた。同省は勧告で指摘された東京都や大阪府、大阪市などには「原文」を送ったが、一律周知していないという。市民会議は、「日の丸・君が代」訴訟の元原告で元教諭の渡辺厚子さん(みんらの手)で今年三月に結成。渡辺さんが所属して

ILO勧告も無視「早く是正に動いて」

いた「アィム89東京教育労働者組合」が一四年、ILOと国連教育科学文化機関(ユネスコ)の合同委員会に「日の丸・君が代」に従わなかった教員への懲戒処分を巡り、思想信条の自由を侵害していると申し立てた。合同委は「式典規則に関し、教員らと対話する機会を設ける」「規則は国旗掲揚や国歌斉唱に参加したくない教員にも対応できるものにする」とし、懲罰で教員を従わせる姿勢を指弾。内心の自由を保障する教育現場に改めるべきだと勧告を含めた報告書を採択し、昨春、ILOとユネスコがそれぞれ日本政府に送った。その後、渡辺さんらは文科省と交渉を重ねてきたが、同省は「教員の地位に関する勧告内容も踏まえつつ、わが国の実情や国内法に適合した方法で取り組みが行われるよう地方公共団体に周知をしている」の一点張り。国旗掲揚、国歌斉唱が実施される式典での不起立を理由に教員の処分を繰り返す東京都や大阪府、大阪市の対応にも、「各教委や学校で話し合うべきだ」として突き放してきた。そもそも文科省は、学校での

国旗国歌の実施は「児童生徒にわが国の国旗と国歌の意味を理解させ、これを尊重する態度を育てるため。内心にまで立ち入り強制するものではない」とのスタンスで、この日の交渉でもそれを繰り返した。

東京都内の公立中高・特別支援学校では今春、「コロナ禍でも、卒業式で「君が代斉唱」を強行した。国際機関の勧告を無視しての強制はなぜ続くのか。

この日の交渉に参加した「日の丸・君が代」訴訟の原告代理人を務める沢藤統一郎弁護士は「国旗国歌の徹底は、主権者の国民に対して国家を敬えという強制だ。日本は思想信条の自由を保障した憲法下でありながら、人びとの内心を縛った戦前から今も変わっていない」と批判する。

「日の丸・君が代」に従わなかったとして戒告処分を受けてきた都立高教師の川村佐和さん(六)は、定年後の再任用にも制限を受けるなど不利益な扱いを受けている。「思想信条にかかわる不起立だけで制裁を受けるのはおかしい。私たちにはもう時間がない。日本政府は早く是正に動いてほしい」と訴えた。

「ユネスコ」追跡

Table with financial data, including stock prices and exchange rates. Columns include various market indicators and numerical values.